

No.69 前立腺永久挿入密封小線源治療を受けられる方へ

ID @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

経過 月日	入院日 / 治療前日	治療当日	治療後 1 日目	退院日
目標	経口補水について理解できる	疼痛のコントロールができる 尿の管から持続的に尿の流出がある	安定した歩行ができる 尿の管を抜いた後、排尿できる	日常生活の注意点を理解できる
治療・処置	<p>リストバンドを装着します。 普段飲んでいるお薬がありましたら、お知らせください 入院中の内服について確認します。 確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残して置いてください。 生活質問表・承諾書・同意書を看護師にお渡し下さい。 陰部の毛は除毛させていただきます。 21時頃に下剤を飲みます 眠れない時は遠慮なく看護師にお知らせください</p> 	<p>点滴をします。翌日午前まで続きます。 医師の指示があった場合のみ持参薬を内服します。 ()時頃に浣腸をします。</p> <p>治療は : 頃の予定です。下半身麻酔で行います。 治療の時間は当日の状況により変更になる場合があります。 看護師が声をお掛けしますのでお部屋にてお待ち下さい。 治療着に着替え、治療室に行きます。</p> <p>治療中は機械を装着して脈や血圧を測定します。 血栓予防のための機械を足につけます。</p>	<p>尿道を拡張する内服薬を開始します。 午前まで点滴があります。 終了後、針を抜きます。</p>	
検査・測定	身長・体重測定、検温をします。	治療後は、必要に応じて検温をします。	朝、検温と採血があります。 看護師から検査に呼ばれましたら、 CT撮影(地下1階放射線科外来)に行ってください。	
食事	<p>日曜入院の方は昼食から、水曜入院の方は夕食から食事が出ます。食事の内容・形態・量など変更することもできますのでご相談ください。</p> <p>21時以降、禁食となります。 その後は、翌朝6:30まで飲水ができます。</p>	<p>朝6:30までは飲水できます。 朝より禁食です。 治療後3時間後から飲水(水かお茶)ができます。 ペットボトル、ストロー使用し枕元に置いておきましょう。 内服については医師の指示に従ってください。</p>	<p>朝より食事ができます。</p> 	
清潔	シャワーに入ってください。		シャワーに入れます。	
排泄		治療終了後、尿の管が入ります。 翌日の午前中まで入れたままです。	CT検査終了後、尿の管を抜きます。 抜去後は尿を蓄尿びんにためて下さい。(方法は看護師が説明します。) 午後、残尿測定を行います。	
活動	特に制限はありません。病棟を長時間離れるときは看護師に声をお掛けください。	治療終了後、翌日の朝までは、ベッド上安静です。	朝の検温のあとから歩行可能です。 特に制限はありませんが、病棟を離れる際は看護師に声をお掛け下さい。	
患者・家族の皆様への説明等	<p>看護師より入院生活、病棟内の説明があります。(入院案内に同様の内容が記載されています。) 治療に必要な物品を確認します。 ・テープ式紙おむつ 1枚入り</p>	<p>当日の面会制限はありません。面会の際は入室記録への記載が必要になります。看護師が説明します。 用意した物品は治療後に使用します。担当看護師に御確認下さい 用事がある場合や痛みがある時、気分の悪い時などは看護師に声をお掛け下さい。</p>	<p>【退院について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師より退院の説明があります ・看護師より退院手続きの説明、次回の外来日をお知らせします <p>『入院のご案内』にあるアンケートにご協力下さい。</p> <p>【退院後の過ごし方】</p> <p>水分は多めにとってください。1日1~1.5Lくらいが目安です。水分を多めにとり、尿を出すことが、排尿時痛・血尿の改善、感染予防に有効です。 退院後の生活について放射線科医師・看護師より説明があります。看護師より、治療カードをお渡します。</p>	

経過は個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。(上記内容は変更になる場合があります。)

※この用紙は入院時にお持ちください。

@HOSPNAME

泌尿器科病棟 2023.11.01 改版 No.69 ver.5.0